

うりずんの頃

本調子

老	
四	
上	
工	
工	
老	
中	
上	
五	
五	

五	
工	
中	
工	
五	
工	
合	こ
乙	い
老	や
上	ぶ
老	れ

合	ゆ
乙	め
老	や
工	ぶ
中	れ
乙	こ
乙	よ
老	い
中	も

上	ま
老	た
老	な
上	み
乙	だ
合	め
乙	を
老	と
上	じ
老	て

合	お
乙	も
老	い
工	だ
中	す
乙	あ
乙	か
老	ば
中	な
上	あ
上	お

老	い
乙	そ
合	ら
老	し
四	ま
上	の
工	む
工	く
老	ど
中	り

上	に
中	や
中	ま
中	と
工	の
五	み
六	ず
五	に
工	が
六	く
五	

工	か
五	え
六	り
六	た
六	い
五	ふる
六	さ
五	と
中	は
工	い

中	ま
五	う
五	り
六	ず
五	ん
中	の
工	こ
五	
工	る

うりずんの頃

本調子

2 / 2

一、恋やぶれ 夢やぶれ 今宵もまた涙
目を閉じて 思い出す 赤花 碧い
空

島の無垢鳥に 大和の水苦く
帰りたい 故郷は今 うりずんの頃

二、母恋し ふでだより 潮の香 ほの

かおる

つつみ開け 懐かしい 手作り 油

菓子

南風よ 涼やかに 小さき老人の背

に

帰りたい故郷は今 うりずんの頃

三、若夏の 初々し 緑葉 胸を打つ

辛くても 生きて行く 宝のこの命

響けちゆら海に 三線おおらかに

帰りたい故郷は今 うりずんの頃